鹿児島県は離島の人口と面積が全国1位の県です。今回はトカラ列島最北端の「口之島」を紹介します。

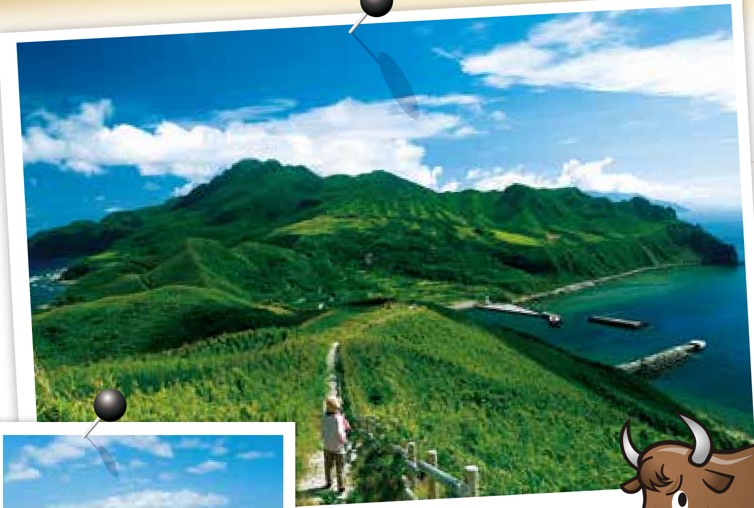
しまじま
島々もよう

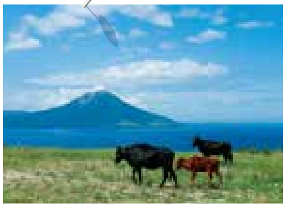
タモトユリが香り、野生牛があそぶ

vol. 2

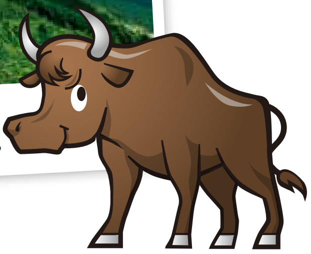
Kuchinoshima

口之島





口之島北端のフリイ岳からは、晴れた日には屋久島も望めます。



トカラ列島の玄関口

口之島はトカラ列島および十島村の最北端にあり、鹿児島市から南へ約200キロメートルの海上に位置する島です。古くから琉球と鹿児島を結ぶ海上交通の中継点として重要な島で、江戸時代には薩摩藩の番所が設置されていました。また、第二次世界大戦終結後の昭和21年に北緯30度線以南がアメリカ軍統治下となり、北緯30度線が横切っている口之島を含む、トカラ列島の島々は奄美群島とともに日本から切り離されたという歴史を持っています(トカラ列島は昭和27年2月に日本復帰)。島の北端には「北緯30度線モニュメント」が設置されています。

鹿児島港からトカラ列島を経由して奄美大島へ至る週2便の村営フェリーが唯一の交通手段で、生活航路として大切な役割を担っています。

野生牛ののどかな風景

溶岩ドームが複合した火山島で、地形は起伏に富んでおり、丘陵地形と美しい海岸線が合わさった絶景が広がっています。

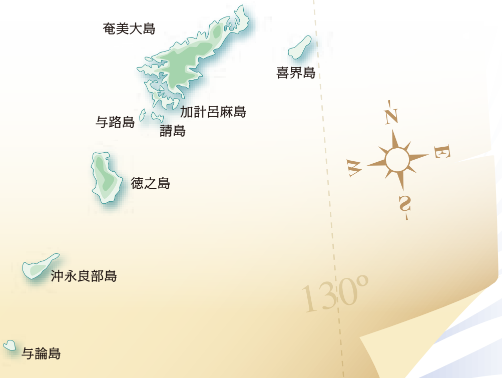
島には黒毛和牛の純血種で「野生牛」と呼ばれる口之島にしか生息していない野生の牛がいます。日本在来種の姿を現在に伝える貴重なものです。畜産も盛んで、牛が放牧されているのどかな風景も島の景色の一部となっています。

また、干潮時にはプールに閉じ込められた魚と一緒に泳げる平瀬海水浴場や、北緯30度線にあるフリイ岳展望台など、県の「特定離島ふるさとおこし推進事業」を活用した観光施設等の整備も進められており、今年度は、セランマ温泉の周辺整備なども予定されています。

島々メモ

天に向かって咲き誇るタモトユリ

平家の落人(おちうど)が袂(たもと)に入れて持ち込んだという伝説もある島固有種のタモトユリは、天を向いて開く白い花で、欧米に持ち出されて品種改良されカサブランカが誕生したと言われています。保護地を望む場所には展望台が整備されています。



［位　置］北緯29度59分58秒／東経129度55分
［面　積］13.33km²　［周　囲］20.38km
［人　口］126人/78世帯(平成26年4月30日現在)
［地　形］前岳(標高628m)や燃岳(標高425m)ほか、複数の溶岩ドームが複合した火山島
［主な産業］農業(田芋、大名タケノコ、島バナナなど)、子牛の生産、水産業(サワラ、カツオ、ダツなど)
［島名由来］「七島の海口にある故に」(『三国名勝図会』より)。鹿児島から見てトカラ列島の玄関口にあたることから。
［アクセス］鹿児島港から村営の「フェリーとしま(1,391t)」が週2便運行。車両運搬可。所要時間は鹿児島から約6時間15分。

お問い合わせ先:十島村役場　☎099(222)2101
(所在地は鹿児島市内)